

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

## 研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学病院もの忘れ外来における血中ビタミン濃度と認知機能の性差に関する調査
<p>1. 研究の対象および研究対象期間</p> <p>2016年3月～2019年3月に当院脳神経内科 もの忘れ外来を受診された方</p>
<p>2. 研究目的・方法</p> <p>アルツハイマー型認知症に代表される認知機能障害には男女差がみられることが指摘されています。しかしその機序は不明な点が多く、発症予防や治療薬の開発に向けた多くの研究が行われています。ビタミン欠乏症も認知機能障害の原因となることが知られていますが、正常範囲の血中ビタミン濃度と認知機能障害に関する検討は多くありません。本研究では、もの忘れ外来を受診した患者様に対して血中ビタミン濃度と認知機能の性差について検討します。</p> <p><b>研究期間</b></p> <p>「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院長の研究実施許可を得てから2021年3月まで</p>
<p>3. 研究に用いる試料・情報の種類</p> <p>情報：診療録（初診時の年齢、性別）、認知機能検査結果（Mini-Mental State Examination (MMSE)、改訂版長谷川式認知症スケール (HDS-R)）</p> <p>資料：血液中のビタミン濃度（葉酸、ビタミンB1、ビタミンB12）</p>
<p>4. お問い合わせ先</p> <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方に</p>

ご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：医学部内科学講座脳神経内科学部門

医学研究科衛生学公衆衛生学講座公衆衛生学部門 氏名：三木 綾子

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8781（脳神経内科医局）

研究責任者：

所属：医学部内科学講座脳神経内科学部門

研究責任者：小野 賢二郎